

# JCRファーマ株式会社

2017年3月期(第42期)決算発表補助資料  
(2016.4~2017.3)

(単位:百万円)

連 結	第41期 2015年度	第42期 2016年度	第43期(予想) 2017年度
売 上 高	17,438	18,085	19,800
営 業 利 益	2,152	2,362	2,640
経 常 利 益	2,443	2,534	2,650
当 期 純 利 益	1,789	1,863	1,970

減 価 償 却 費	1,407	1,447	1,400
設 備 投 資 額	1,237	1,409	1,100
研 究 開 発 費 (※)	3,348	4,071	3,920
従 業 員 数	526人	566人	

(※) ご参考

共同開発先による負担額 控除前の研究開発費	3,559	4,551	4,560
--------------------------	-------	-------	-------

**売上高、営業・経常・純利益は過去最高を記録**

# 主力製品販売状況

主力製品 グロウジェクト®、エポエチンアルファBS注JCR、テムセル®はいずれも売上続伸し、過去最高の売上高を記録。

## <グロウジェクト®>

	前期 2015年度		当期 2016年度		増減率	
	売上高 (百万円)	本数(本)	売上高 (百万円)	本数(本)	売上高	本数
1H	5,060	94,163	5,175	103,467	+2.3%	+ 9.9%
2H	5,162	99,238	5,507	109,849	+6.7%	+10.7%
通期	10,222	193,401	10,682	213,316	+4.5%	+10.3%

※本数は8mg換算

- 売上高は前期比4.5%増加し、106億円
- 売上本数は前期比10.3%増加
- 2017年1月に液状製剤、新型電動式注入器を発売



写真

左:グロウジェクト® 液状製剤

右:グロジェクター®L

# 主力製品販売状況

## <エポエチンアルファBS注JCR>

	前期 2015年度	当期 2016年度	増減率
	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)	
1H	1,893	1,824	-3.6%
2H	1,745	1,878	+7.6%
通期	3,638	3,702	+1.8%

➤売上高は  
前期比1.8%増加し、37億円



## <テムセル®HS注>

	前期 2015年度	当期 2016年度	増減率
	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)	
1H		261	—
2H	118	427	+259.5%
通期	118	688	+480.2%

※テムセルは2016年2月から販売を開始



# 研究開発状況

(2017年5月10日現在)

開発番号(一般名)	開発段階	適応症等
		備考
JR-041 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	臨床 第Ⅰ/Ⅱ相 試験	不妊治療
		あすか製薬(株)へ導出
JR-051 (遺伝子組換え $\alpha$ -ガラクトシダーゼA)	臨床 第Ⅱ/Ⅲ相 試験	ファブリー病(ライソゾーム病)
		酵素補充療法 グラクソ・スミスクライン・グループと共同開発
JR-032 (遺伝子組換え イズロネート-2-スルファターゼ)	臨床試験 準備中	ハンター症候群(ライソゾーム病)
		酵素補充療法 グラクソ・スミスクライン・グループと共同開発
JR-131 (遺伝子組換えダルベポエチン)	臨床第Ⅲ相 試験	腎性貧血
		キッセイ薬品工業(株)と共同開発
JR-101 (遺伝子組換え グルコセレブロシダーゼ)	前臨床	ゴーシェ病(ライソゾーム病)
		酵素補充療法 糖鎖コントロール技術「J-GlycoM®」採用
JR-141 (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロネート-2-スルファターゼ)	臨床 第Ⅰ/Ⅱ相 試験	ハンター症候群(ライソゾーム病)
		酵素補充療法 血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」採用
JR-142 (持続型遺伝子組換え成長ホルモン)	前臨床	成長障害
		持続型成長ホルモン製剤 CHO細胞高発現技術「J-MIG System®」採用
JR-162 (J-Brain Cargo®適用遺伝子組換え 酸性 $\alpha$ -グルコシダーゼ)	前臨床	ポンペ病(ライソゾーム病)
		酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」適応



## 開発品目進捗経過・予定

開発番号（品目名）	第41期末 2015年度	第42期末 2016年度	第43期予定 2017年度	第44期予定 2018年度
<b>JR-051</b> (遺伝子組換え $\alpha$ -ガラクトシダーゼA)	臨床 第Ⅱ/Ⅲ相試験		製造販売 承認申請	製造販売 承認取得予定
<b>JR-032</b> (遺伝子組換えイズロネート2スルファターゼ)	臨床試験 準備中			
<b>JR-131</b> (遺伝子組換えダルベポエチン)	臨床 第Ⅰ相試験	臨床 第Ⅲ相試験		製造販売 承認申請
<b>JR-101</b> (遺伝子組換えグルコセレブロシダーゼ)	前臨床			
<b>JR-141</b> (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロネート-2-スルファターゼ)	前臨床	臨床 第Ⅰ/Ⅱ相試験		臨床 第Ⅱ/Ⅲ相試験 開始
<b>JR-142</b> (持続型遺伝子組換え成長ホルモン)	前臨床			臨床試験 開始
<b>JR-162</b> (J-Brain Cargo <sup>®</sup> 適用遺伝子組換え 酸性 $\alpha$ -グルコシダーゼ)		前臨床		臨床試験 開始

本表における第43期以降は現時点での予定です。  
また、JR-041はあすか製薬(株)へ導出しておりますので、記載しておりません。